

寅さ歩 その 23

東京の博物館めぐりー27

港区ー2

平野 武宏



港区の博物館めぐりの続きです。写真右上は東京スカイツリーが誕生するまで電波塔の主役だった東京タワーです。温かみがあるとファンも多いです。

区内に多くある博物館(記念館・資料館・展示館等を総称します)から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。各博物館の詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。

バーチャルウォーク「中山道六十九次」の途中経過も報告します。

〔伊勢半紅ミュージアム〕 港区南青山 6-6-20

最寄駅 銀座線 表参道駅 B1

「伊勢半紅ミュージアム」(写真下左)寅次郎が勤務していた富士フィルムの西麻布本社の左にある民間駐車場の隣にあり、都バス 南青山七丁目バス停前にあります。江戸時代から続く紅屋・伊勢半本店[1825 年(文政 8 年)創業]が設立した資料館です。「紅」とは紅花の花弁から採取する希少な赤色色素のことで古くから染料、化粧料(口紅・頬紅)、食品着色料などに用いられてきました。



今や紅の製法を守る唯一の伊勢半本店が「紅と化粧の歴史を伝える場」です。



展示見学は事前申し込みになっていましたが、知らずに9月4日10時過ぎに訪問した寅次郎、事前申し込みが入っていないので見学出来ました。
開館時間は10時～16時、休館日は毎週月曜日、創業記念日(7月7日)、年末年始です。

【フジフィルムスクエア】 港区赤坂 9-7-3

最寄駅 大江戸線 六本木駅 8番(直結)

寅次郎が富士写真フイルム(現在は富士フイルムに改称)に入社した1965年(昭和40年)の本社所在地は、創業の地で工場がある神奈川県南足柄市でした。東京では銀座並木通りや高速道路下にオフィスを分散していました。創業35周年の1969年(昭和44年)南青山に初の東京本社ビル(現在の西麻布本社)を建て、2007年(平成19年)には赤坂の防衛庁跡地に東京ミッドタウン本社を建て、グループの本社機能を集結しました。「フジフィルムスクエア」(写真下)は東京ミッドタウン本社にあります。寅次郎の東京での勤務地は銀座、南青山で赤坂移転は退職後です。現在はセキュリティが厳しく本社オフィス内にはなかなか入れません。



写真術の誕生は1839年(天保10年)仏政府がニエブスとダゲールが考案したダゲレオタイプの写真術(銀板写真)を認め、世界初の写真術が誕生、世界初の大量用カメラが売り出されました。その後、紙ネガ印画法「カロタイプ」、コロジオン「湿板写真」の発明がありました。

日本には1848年(嘉永元年)「ダゲレオタイプ」が渡来、薩摩の御用商人が入手し薩摩藩に献上しています。又1861年(文久元年)には湿式写真の写真館が

開業してます。展示には富士フィルムの歴史を築いたフィルムとカメラがあります(写真下)。写真展も同時開催していますので、そちらもご覧ください。



〔外務省 外交史料館・史料館別館展示室〕 港区麻布台 1-5-3

最寄駅 日比谷線 六本木一丁目駅

外務省飯倉公館を挟んで外交史料館(写真下左)と外交史料館別館展示室(写真下右)があります。いずれも開館は 10 時～17 時 30 分。休館日は土、日、祝日、年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)です。



外交史料館は玄関フロアに外交史料館の説明とユダヤ系避難民を救った外交官杉原千畝(ちうね)の資料展示があり、別棟の外交史料館別館展示室の紹介がありました。別館展示室(写真下左)は 1988 年(昭和 63 年)吉田茂事業財団(現在吉田茂国際基金)より資料と共に外務省に寄贈されたとのこと。入口で吉田茂像(写真下右)がお出迎えです。2 階の展示は常設展のみ(企画展は休み中)でした。



幕末から第二次世界大戦終結までを中心に日本外交の足跡を示す代表的な条約書、国書、親書、その他外交文書ほか、吉田茂元総理の遺品も展示されています。日本外交の歩みを身近に感じることのできる貴重な史料です。

案内パンフレットとして常設展示史料目録(50 ページ)がいただけます。

写真下左は 1854 年（嘉永 7 年）ペリー全権との間に調印した日米和親条約（複写）で日本開国の契機となりました。写真下右は展示室風景です。



〔NHK 放送博物館〕 港区愛宕 2-1-1 最寄駅 三田線 御成門駅 A5

「NHK 放送博物館」のある愛宕山への上り方は 3 つあります。元気な方は間垣平九郎が馬で駆け上がった伝説の「出世の階段」（写真下左の正面の階段）、少し元気な方は右手にある「女坂」、（写真下左の右の階段）体力を保存したい方は左手の愛宕隧道（トンネル）手前左の「エレベーター」（写真下右）の利用です。



関東大震災で倒壊・焼失した愛宕塔と愛宕館の跡地に 1922 年（大正 14 年）7 月 12 日東京放送局（J O A K）の局舎が落成しラジオ放送が始まりました。場所は広く電波を送信できる高台であることから「愛宕山」が選ばれました。1939 年（昭和 14 年）5 月 13 日千代田区内幸町に東京放送会館が完成し、愛宕山の東京放送局の役割は終わりました。1956 年（昭和 31 年）3 月から世界初の放送博物館（写真下左）として開館しました。

入口では「チコちゃんとキョエちゃん」がお出迎えです。開館は9時30分～16時30分、休館日は月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始です。



展示は1階 ウェルカムゾーン、放送歴史絵図(写真下左右)他、2階は愛宕山8Kシアター、テーマゾーン他、3階はヒストリーゾーン(撮影不可)です。ラジオ放送開始からテレビ放送までの通史を一望でき放送の未来が感じられる展示です。



寅さん歩 110 江戸・東京の祭—38 (江戸らしい祭—19) をご参照ください。

〔港区立みなと科学館〕 港区虎の門3-6-9

最寄駅 日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅A1・A2

港区の子どもから大人まで、楽しみながら科学が学べる施設として2020年(令和2年)6月15日オープンしました。1階は展示コーナー、2階は最新鋭のプラネタリウムホール(有料)です。寅次郎の訪問時の展示は「みなと昆虫展2020」(9月13日まで)で世界の昆虫標本、ヘラクレスオオカブトなどの生体展示、ワークショップなど楽しみながら生物の多様性について学べます。写真下の展示をご覧ください。

新型コロナウイルス感染予防拡大防止で定員を定めた事前予約制になっていました。知らずに11時30分に訪れた寅次郎、当日の12時～14時の定員の最後の一人になって入場が出来ました。寅次郎以外は家族連ればかりでした。

当面は 9 時～11 時、12 時～14 時、15 時～17 時、18 時～20 時で各回 70 名（プラネタリウムは各回 50 名）の事前予約制です。



開館は 9 時～20 時。休館日は毎月第 2 月曜日、12 月 29 日～1 月 3 日、臨時休館日もあります。

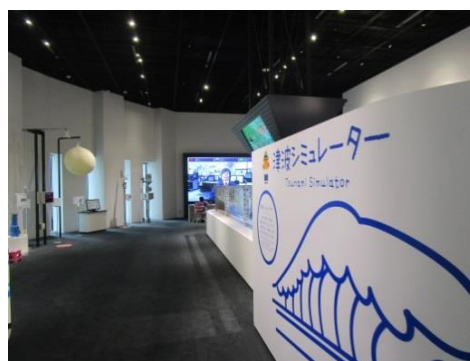
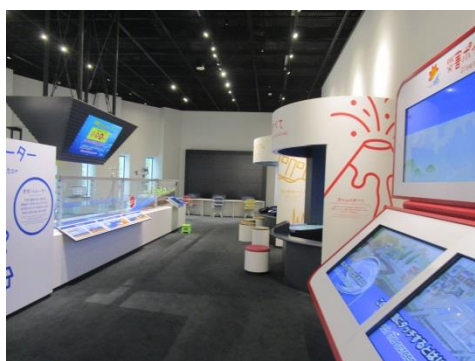
【気象庁気象科学館】 港区虎の門 3-6-9

最寄駅 日比谷線 虎ノ門ヒルズ駅 A1・A2

「港区立みなと科学館」と同じビルの 2 階にあります。港区立みなと科学館の事前予約で入館できました。千代田区にあった気象庁に併設されていた「気象科学館」が気象庁の移転に伴い、オープンしました。日本の四季・自然・気象を体感しながら防災・減災を学べる科学館です。

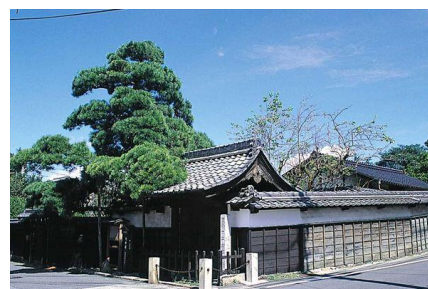
入口では気象庁マスコットキャラクター“はれるん”（写真右）がお出迎え、臨場感あふれるうずまきシアター、津波シミュレーター、気象や地震についてのクイズに挑戦するウエザーミッションがあります。大雨・洪水や積乱雲・雲など様々な災害への対応方法や気象庁の仕事が学べました。開館時間、休館日は港区立みなと科学館と同じ。写真下左右は展示風景です。





〔バーチャルウォーク途中経過〕

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがF W Aホームページ「Y R・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「中山道六十九次」に挑戦です。7月7日、日本橋を出立しました。10月12日、日本橋から46番目の大井宿に到着しました。現在の岐阜県恵那市に位置します。写真下は本陣跡です。



自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。F W AのHP「Y R・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

ウォーキングで人との距離(2m以上)が確保できる場合はマスクを外して、熱中症にもご注意ください！

次回は 東京の博物館めぐりー28 です。

平野 寅次郎 拝